

平成 29 年 7 月 31 日

各 位

会 社 名 株式会社パートナーエージェント
 代 表 者 名 代表取締役社長 佐 藤 茂
 (コード番号：6181 東証マザーズ)
 問 合 せ 先 I R 担 当 真 瀬 優 嘉
 (TEL. 03-5759-2700)

平成 30 年 3 月期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 5 月 12 日に公表いたしました平成 30 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間及び通期の業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成 30 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想の修正

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 四半期純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	2,141	138	134	95	10.16
今回修正予想 (B)	2,027	23	26	16	1.78
増減額 (B-A)	△113	△115	△108	△78	—
増減率 (%)	△5.3	△83.3	△80.4	△82.3	—
(ご参考) 前期第 2 四半期 連結累計期間実績 (平成 29 年 3 月期)	1,991	234	237	181	19.08

(2) 平成 30 年 3 月期通期業績予想の修正 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	4,649	405	501	355	37.80
今回修正予想 (B)	4,331	205	315	202	21.20
増減額 (B-A)	△318	△200	△185	△153	—
増減率 (%)	△6.8	△49.4	△37.1	△43.2	—
(ご参考) 前期通期実績 (平成 29 年 3 月期)	3,812	204	212	107	11.37

(注) 当社は平成 29 年 1 月 1 日付をもって株式 1 株につき 3 株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1 株当たり純利益金額を算定しております。

2. 業績予想修正の理由

①第 2 四半期連結累計期間

主力事業であるパートナーエージェント事業において、お客様が来店されてご入会される率に大きな変化はないものの、広告反応率が 2 割程度悪化しており、結果、接客の絶対数が減少し、新規入会会員数が予想を下回っております。当社では、現在の広告反応率については改善に一定の期間を要すると考え、また、経費面では計画に従って中長期的な事業成長や企業価値向上のための前向きな投資・支出（人件費、広告宣伝費、地代家賃等）を行っていることから、上記のとおり当初予想を下回る見込みとなりました。

②通期

パートナーエージェント事業において、新規入会会員数が予想を下回っていることは、その後の月会費売上の積上げ部分として継続的に影響してまいります。

当社では、広告反応率の回復を早期に実現し新規入会会員数を増やすべく取り組んでまいりますが、通期売上については第 2 四半期連結累計期間の遅れに鑑み、上記のとおり当初予想を修正しております。

なお、売上の減少額に比べて営業利益の減少額が少ないのは、広告反応率の回復により経費の改善効果が見込めることによるものです。

以上により、平成 30 年 3 月期の第 2 四半期連結累計期間及び通期の業績の前回予想を修正いたします。

(ご参考) 平成 29 年 6 月 30 日まで（当期第 1 四半期連結累計期間）の予想と実績の対比

項目	予想	実績	達成率	差異
新規入会会員数	2,317	2,081	89.8%	△236
在籍会員数	12,402	12,187	98.3%	△215

3. 今後の方針

当社はこれまで、広告反応率の低下の原因を究明し、解決すべき課題を明確にしながらその改善に取り組んでまいりましたが、改善をより確実なものとしかつ早期に改善を図るべく、外部の広告関連企業に協力を仰ぎ、その助力と知見の提供を受けて、広告デザイン・コンセプトの見直しや、機動的かつ柔軟な広告出稿を行えるようにして広告効率の回復に取り組むとともに、併せて広告担当部署の役割分担及び業務フローを改善することで、より早く回復が実現できるよう、取り組んでまいりました。広告につきましては改善に期間を要しておりますが、守りに回ってしまうことなく攻めるべきときは攻め、その結果のデータを基に改善を行うというサイクルを回しており、引き続き改善に注力してまいります。

各段階利益の回復・成長は売上の回復・成長により概ね実現いたしますが、上記業績予想修正

の理由に記載したとおり、現状では当初予想までキャッチアップできるとまで考えられないため、従業員の生産性向上を実現し、またコスト効率を高めることにより収益に貢献できるよう努力してまいります。

4. その他のご注意事項

本資料に掲載されている業績予想等の将来予測に関する記述は、当社グループが発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断した情報に基づいたものであり、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

5. 本件に関するお問い合わせ先

下記の当社 I R 担当窓口までお問い合わせください。

〒141-0032 東京都品川区大崎 1-20-3 イマス大崎ビル 4 階

株式会社パートナーエージェント

管理部 総務課 I R 担当 真瀬 (ませ)

TEL : 03-6685-2800 (平日 : 10 時~17 時)

Mail : ir-contact@p-a.jp

以上